

神戸市垂水区及び須磨区のアルゼンチンアリ 防除計画

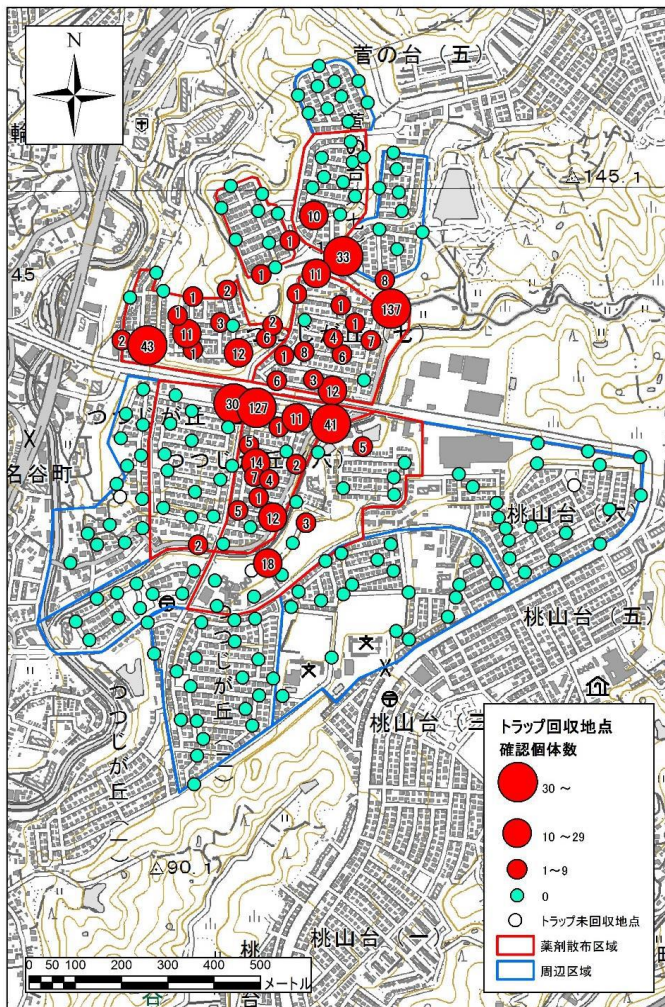
神戸市垂水区及び須磨区には、特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリが生息しています。

アルゼンチンアリは、放置すると生息密度が高まり家のなかへの侵入が増え不快害虫となるほか、在来のアリを駆逐してしまい生態系を破壊することが知られています。

このため、アルゼンチンアリの根絶するため、住民と行政の協力により防除を実施していくこととなりました。

この防除に必要な計画を策定しましたのでご一読ください。

1 アルゼンチンアリの侵入状況



平成 30 年度環境省調査結果より

2 アルゼンチンアリの防除方法

(1) 一斉防除

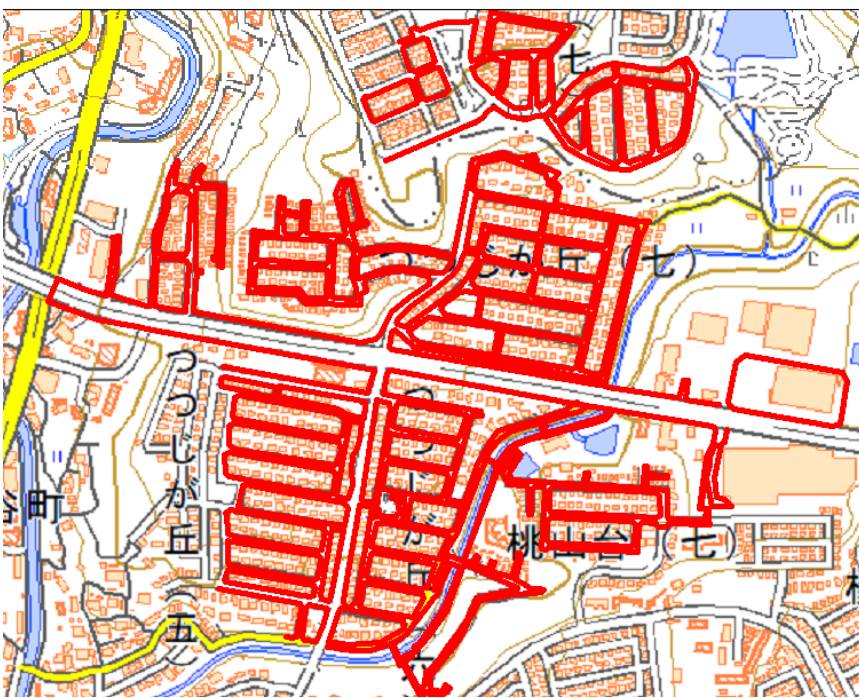
アルゼンチンア리를局所的に根絶させたとしても、その周囲に生息していれば、すぐに再侵入を許し、もとの個体数レベルまで回復してしまいます。そのため、再侵入を防止する観点から必要十分な防除実施区域を設定した上で、一斉に、集中的に防除を実施する「一斉防除」の手法が効果的です。

一斉防除の利点としては以下のようなことが挙げられます。

一斉防除の利点

- 周辺からの再侵入が起こりにくく、防除効果が長続きします。
- 環境への負荷を小さくできます。
 - ・ 過剰な殺虫剤の散布を避けることができます。
 - ・ 適切な方法で実施すれば、少ない回数の防除でアルゼンチンアリの被害を抑えることができます。
- 各主体が個別に防除をするよりも、全体として低いコストで実施できます。

(2) 一斉防除のラインの設定



一斉防除を実施するラインをお示しします。

(4) 使用する薬剤…2種類の薬剤で駆除します

【ベイト剤】

餌に遅行性（ゆっくりと効いていく）の殺虫剤を含ませたものです。これを働きアリに巣に持ち帰ってもらって、卵を産む女王アリを退治します。

〔ベイト剤の設置方法〕



《設置方法》

- (1) ベイト剤は、10m間隔で置いていきます。写真のように敷地内と隣接する道路際に設置します。
- (2) ベイト剤は1か月後の次の設置時に回収します。
- (3) 使用済みのベイト剤容器はプラスチックごみとして処分します。
- (4) 薬の薬効は、2～3週間です。雨には弱いですが、雨の日も回収せず放置し、次回設置するベイト剤に期待します。

【液剤】



液剤は、アリ同士がなめ合う習性（グルーミング）を利用した薬剤で、巣の中でのグルーミングによる効果が期待できるアルゼンチンアリ対策に有効な薬剤です。成分はベイト剤と同じものです。アリの行列を見つけたら直接かけるか、アリの巣に流し込んでください。

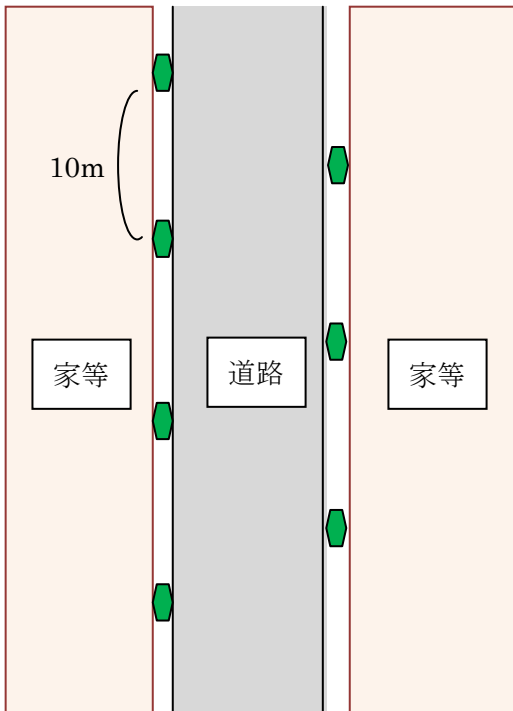
ただし液剤をあまりかけすぎると、巣にたどり着く前にアリが死んでしまいますので注意が必要です。



公園では、植え込み等周囲が目立たない箇所に設置します。

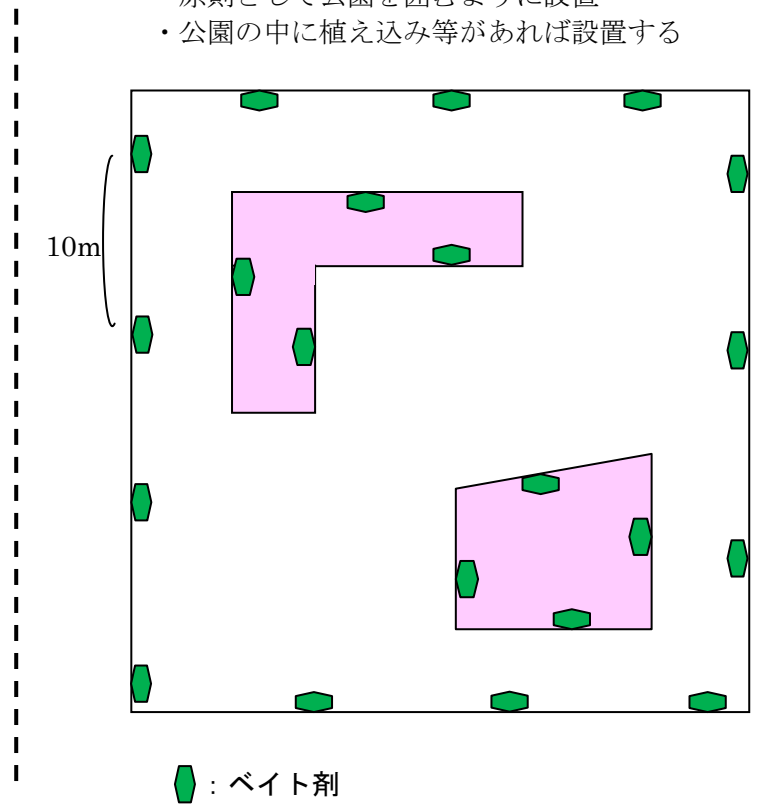
道路の場合

- ・道路の両端に設置



公園の場合

- ・原則として公園を囲むように設置
- ・公園の中に植え込み等があれば設置する



3 モニタリング…一斉防除の成果などを検証

モニタリングは、防除の成果やアリの生息範囲を調べるために、生息アリを捕捉して、その種類や密度を調べます。



《粘着トラップ》

箱の中に粘着シートがあり、これを3日～1週間程度設置することで、中を通過するアリを捕捉します。シヨ糖トラップのようにアリを集める機能はありませんが、自然なアリの状態を調べることができます。

3月～11月の間で2回程度、約100個を設置する予定です。

トラップは、見かけても手を触れたり、移動したりしないようにご協力をお願いします。

防除計画に係る連絡先

環境省 近畿地方環境事務所 野生生物課

電話：06-4792-0706